

コミュニティだより



発行　登米市吉田公民館　　TEL:0220-55-2124
（指定管理者　吉田コミュニティ運営協議会）FAx:0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会

キッズサークル（６月２２日）

開級式並びに第１回学習会は、１０月開催のよねやま文化祭に出展する作品としてパステルのアトリエ ベルクルール かんのみきこ氏を講師に迎え“筆文字ラメアート”に挑戦しました!(^^)!

２枚作成し、１枚は持ち帰り、もう１枚は文化祭出展用としました。１４名の学級生が好きな漢字を書いたり、絵を書いたり、ラメで可愛くアレンジしたりして、とても素敵な作品ができあがりました☆

「糊付けとラメを付けるのが難しかったけど楽しかったよ(^^♪」「きれいに仕上がって良かった！お家に帰ったら家族に早く見せたい(*^^*)」と楽しんでいただけたようです。

ぜひ学級生が作った個性あふれる作品を多くの皆さんに見に来ていただければなと思います。







男の料理教室（６月２３日）

さしゅん 佐藤嘉彦氏を講師に迎え、開級式並びに第１回学習会を開催。１３名の学級生が“ヒレカツ丼”を作りました。

「いつもは揚げてあるカツを買ってきてカツ丼を作るから揚げるところから作るのは初めて。」という学級生が多くいましたが、協力して調理しあっという間に完成(*^^*)ヒレ肉を使ったので柔らかくて美味しいカツ丼でした。

「家で作ってみたよ！！」と公式 LINE に写真を送ってくれた学級生も♪とても美味しそうでした！各家庭で復習して作り、ご家族の皆さんに振る舞ってみてください。







裏面もご覧ください

コミュニティ役職員移動研修会（６月２５日～２６日）

岩手県方面に出向き、２５日は矢巾町地域おこし協力隊・岩隈隊員（ご夫婦）による活動について研修してきました。『地域おこし協力隊』とは、都市地域から過疎地域等に住民票を異動し、最長３年間に地域おこしの支援を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組みです。研修内容として、「植」と「食」の普及をテーマとした農作業支援や町の現状からみえた資源の活用や　“しょく”の楽しみ方の提案等、多岐にわたる事業を展開しているということでした。岩隈隊員により数々のイベントが企画・開催され、矢巾町に活力を植え付けていることが印象的でした。

２６日には、メジャーリーガー菊池雄星選手・大谷翔平選手の母校である「花巻東高校」に向かい、野球場バックネット裏にある両選手の記念モニュメントを見学しました。参加者の皆さんは、両選手の活躍の記録や手形等を拝見し、感動していた様子でした。

今回の移動研修会を通じ、矢巾町地域おこし協力隊による「資源の活用」等を参考にコミュニティ運営維持に努めたいと思いました。








パン作り実習（６月２９日）

青年事業として、食楽ライフ講師　ララランシェフ　きくちひとみ氏を講師に迎え『オーブンがなくてもパンが焼ける！パン作り実習』を開催。大人がメインの事業となりますが親子での参加を可とし、総勢３５名が参加。

先生が作ってきた生地を形成して３種類のパン(プレーン・ハムチーズ・あんこ)を試食用に実際に焼き、焼いている間に材料を量って、お家で焼く用の生地（復習用）を作りました。実際に焼くと、どんどん膨らみ、外はパリッと中はふんわりしたパンができあがりました！！フライパンで簡単に作ることができました(^^♪　お家でもアレンジして色々なパンを作り楽しんでみてください。



